

## 新病院の病床数について

	現在の病床数 (A)	増床分 (B)	新病院の病床数 (A) + (B)	備考
一般病床	432床	34床	466床	平成31年2月7日付け、 千葉県知事より配分
ICU	8床	12床	20床	平成30年3月30日付け、 千葉県知事より承認済み
SCU	9床	6床	15床	
合計	449床	52床	501床	

※このほか、一般病床で対応が困難な、精神身体合併症患者受け入れのための病床の整備について検討を進めます。

## 船橋市立医療センターの増床申請について（概要）

### 1. 増床予定の病院の所在地

船橋市米ヶ崎町及び高根町周辺(土地区画整理事業予定地内)

### 2. 増床予定の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数
一般病床	高度急性期	29床
一般病床(緩和ケア)	急性期	5床
計		34床

### 3. 新病院（増床後）の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数
一般病床	高度急性期	441床
一般病床(ICU・SCU)	高度急性期	35床
一般病床(緩和ケア)	急性期	25床
精神病床(MPU)	—	4床
計		505床

### 4. 増床の目的・必要性

船橋市では、海老川上流地区において、医療・健康をまちのテーマとする「ふなばしメディカルタウン構想」を掲げ、新たなまちづくりを行っております。

医療センターは、この新たなまちに移転し、高度急性期機能の強化をさらに図るとともに、市民の健康・生命を守る新たな中核病院を目指したいと思っております。

現在も、東葛南部、特に船橋地域において、救命救急センターとして、多くの重篤な患者を受け入れております。また、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、臨床研修病院等の役割も担っており、将来にわたり、これらの機能を充実することは必要不可欠です。

本医療圏における「高度急性期」・「急性期」病床数は、必要病床数に比べて“過剰”と算定されておりますが、生命に関わるがん・脳卒中・心臓大血管疾患等の「高度急性期」・「急性期」病床を必要としている患者は、2040年に向けて、引き続き増加が見込まれております。

これらの機能の充実・強化に加え、将来の入院需要の増加等を踏まえると、新病院では、さらに一般病床34床が必要と見込まれることから、増床申請するものです。

### 5. 増床予定の病床数の積算根拠

新病院の必要病床数については、以下の考え方により算出した。

- ①「現在(2017年)の1日あたり患者数」に「医療センター周辺(30分圏内)の将来(2040年)における入院患者の増加率」、「平均在院日数の短縮による減少率(10.5日→10.0日)」を乗じて、「将来の1日あたり患者数」を算出する。
- ②平均在院日数の短縮に向けた取組み等を踏まえて、「将来の1日あたり患者数」を病床稼働率(85%と想定)で割り返す。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日あたり患者数} \\ \hline 373.8 \text{ 人/日} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{入院患者増加率} \\ \hline 120\% \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{在院日数減少率} \\ \hline 95\% \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{病床稼働率} \\ \hline 85\% \\ \hline \end{array} \\
 \\
 = \begin{array}{|c|} \hline \text{501床(一般病床)} \\ \hline \end{array}$$